

27年6月分 製品市場の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成27年6月1日～ 27年6月10日

2. 調査実施方法

全国の製品市場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
6月分の回答企業数は7社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/6月	7月	8月
入荷動向	国産材製材品	△ 8.3	0.0	0.0
	外材製材品	△ 16.7	△ 16.7	△ 16.7
	その他	△ 30.0	0.0	0.0
販売動向	国産材製材品	△ 25.0	△ 16.7	△ 8.3
	外材製材品	△ 33.3	△ 25.0	△ 25.0
	その他	△ 30.0	△ 10.0	△ 10.0
在庫動向	国産材製材品	△ 16.7	△ 8.3	△ 8.3
	外材製材品	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0
	その他	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0

・国産材及びその他の製材品の入荷は6月の減少が7月、8月は横ばい、外材製材品は3ヵ月連続して減少。
・国産材、外材及びその他の製材品の販売は3ヵ月連続して減少。
・国産材、外材及びその他の製材品の在庫は3ヵ月連続して減少。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目		27/6月	7月	8月
スギ	柱角 KD10.5×3	△ 16.7	△ 8.3	△ 8.3
	柱角 KD12×3	△ 16.7	△ 8.3	△ 8.3
	通し柱 12×6	△ 12.5	△ 12.5	△ 12.5
	桁角	△ 16.7	△ 8.3	△ 8.3
	母屋角	△ 25.0	△ 8.3	△ 8.3
	タルキ	△ 8.3	△ 8.3	△ 8.3
	間柱	△ 8.3	0.0	0.0
	加工板	0.0	△ 10.0	△ 10.0
	ヌキ	△ 8.3	△ 8.3	△ 8.3
	平割	△ 8.3	△ 8.3	△ 8.3
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	△ 25.0	△ 16.7	△ 16.7
	柱角 KD12×3	△ 25.0	△ 16.7	△ 16.7
	土台角 10.5×4	△ 16.7	△ 16.7	△ 16.7
	土台角 12×4	△ 8.3	△ 8.3	△ 8.3
	通し柱 12×6	△ 10.0	△ 10.0	△ 10.0
カラマツ土台角10.5×4	—	—	—	
米マツ平角	△ 16.7	△ 25.0	△ 25.0	
米マツ割物	△ 16.7	△ 25.0	△ 25.0	
北洋エゾマツタルキ	0.0	0.0	0.0	
北洋アカマツタルキ	0.0	0.0	0.0	

・スギ製材品の価格は総じて弱含みで推移。
・ヒノキ製材品の価格は3ヵ月連続して弱含みで推移。
・米マツの平角及び割物の価格は3ヵ月連続して弱含みで推移。
・北洋エゾマツタルキ及びアカマツタルキの価格は3ヵ月連続して横ばいで推移。

モニターからのコメント

(荷動き)

- ・国産材、外材共入荷順調、販売は梅雨で7月はやや減少、6月の記念市が終了し国産材、外材共に在庫はやや減少。
- ・国産材、外材製品共に入荷悪い。需要悪い。在庫減らしている。
- ・素材減見込みも現在は品薄感なし。国産材製材品の販売は低調で推移。在庫は入荷減で少しずつ減ってきている。
- ・国産材、外材共に荷動きが悪い。価格的にはWWの4mmが強含み、一方ヒノキは弱含みである。
- ・市況は変わらず、厳しいまま。支援策などで大きな荷動きがない限り全般的な低調は続くと思われる。

(価格動向)

- ・スギ柱角 (KD10.5cm、12.0cm 3m) 60,000円/m³、スギ桁角 (東北グリーン材) 40,000円/m³、母屋角 (東北材) 40,000円/m³、スギタルキ (東北材) 45,000円/m³、スギ間柱 (KD) 65,000円/m³、スギ加工板 (東北グリーン材) 束2,800円、(KD) 束3,800円、スギヌキ (東北材) 40,000円/m³、(秋田) 48,000円/m³、スギ平割 (プレーナー) 45,000円/m³、同 (ラフ) 40,000/m³、ヒノキ柱角・土台角 (KD) 85,000円/m³、米マツ平角KD65,000円/m³、米マツ割物AD65,000円/m³、北洋アカマツタルキ S 68,000円/m³、P 58,000円/m³。
- ・6月以降、スギの丸太価格も下がり、柱、桁角の製品価格にも影響が出て来た。母屋角、タルキ等も6月以降値下がりが見られる。ヒノキ材の単価実需共に下落、米マツは実需の落ち込み見られる、北洋エゾ、アカマルタルキは変わらず。
- ・中部地区ではスギは堅調、使用量は少ない。ヒノキは素材減も需要も迫力なくバランスとれている。米マツは需要低迷。北洋エゾマツタルキは先行き不安あり、樹種変え目立つ。